

カスタネット

Vol.24 2012.10

第10回女と男の一行詩・最優秀作品 / 「男のくせに」「女のくせに」癖にしないでその言葉

特集

女性の再就職

再就職にチャレンジ!!

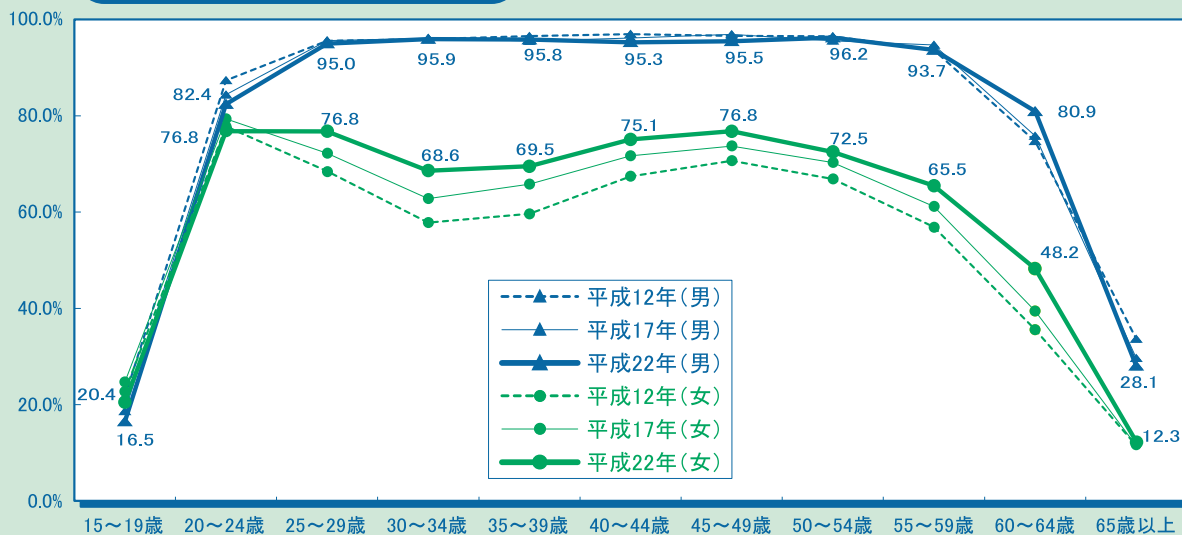
働きやすい環境づくりの支援

■女性の年齢階級別労働力はM字型……日本の特徴です

日本では女性労働者の年齢階級別の労働力率をグラフに表すと、30歳代を底とするM字カーブを示します。帯広市も下記のグラフのように同様の特徴を示しています。

—M字型の理由 女性は出産・子育て時期に離職する—

帯広市の労働力率の推移



資料：国政調査より作成

【労働力率】 就業者数と完全失業者数とを合わせた労働力人口が15歳以上の人口に占める割合。
労働力人口÷15歳以上の人口（労働力状態「不詳」を除く）×100の数値で示す。

女性の離職の理由

- ・家事・育児に専念したので退職した。
- ・仕事と育児の両立が難しかった。
- ・解雇または退職勧奨された。
- ・出産・育児に関係のない理由で退職した。

日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査」より
離職後の再就職は難しく、非正規雇用が多い。

帯広市の特徴

- * 保育サービスが充実している。
- * 事業所の育児休業制度導入率が低い。
導入率 29.9%

事業所の規模が小さくなるほど育児休業制度の導入が遅れている傾向を示しています。

帯広市「平成23年度事業所雇用実態調査」より

再就職にチャレンジ!!

目標があれば道は拓かれる そこには個々のドラマがある!

さまざまな理由で離職した後、再就職に挑戦する女性たちの前には、どのような壁が立ちはだかっているのか。そして彼女たちはどのようにそれを乗り越えているのか。今回はそこにスポットライトを当て、介護老人保健施設で准看護師として働いている白木晴子さんにお話を伺いました。



介護老人保健施設勤務
白木晴子さん

「ああ、この年でもなれるんだ!」

白木晴子さんが看護の仕事に就こうと思いついたのは、ひとつのある再会がきっかけでした。それは4年前、久しぶりに会った友人が、「今、准看護師の勉強をしているんです。」と話す言葉が心に強く響いてきたのです。「ああ、この年でもなれるんだ。」と感動すら覚え、家に帰ると、さっそく夫を説得していました。「少しの間、私に投資してくださいませんか?」と。夫は了承してくれ、当時小4と小1だった2人の子どもたちと義母の理解も得、こうして家族全員の支援を得ることができたのです。そして、その2日後には問題集を買い、猛烈な受験勉強を即開始したのでした。

「人生一度限りなら!」

その当時、晴子さんはヤマハ音楽講師として働いていたので、仕事をしながらの勉強でした。音楽講師は25年間続けたやりがいのある仕事でしたが、晴子さんには幼い頃憧れた職業がありました。それが看護師だったので。

「人生一度限りなら、看護師になりたい。」と、どこかに眠っていた目標が、友人との会話で突然目を覚ましたのです。夜中まで勉強し、就寝は1時半。朝食前にさらにもうひと勉強するため早朝5時には起床するという生活を6月から開始し、その年の11月に帯広市医師会看護高等専修学校を受験して見事合格したのでした。

「社会経験がプラスに!」

45歳の時に始めた挑戦でしたが、「もう少し若い時に始めていたら」と思うことができました。それは実

習の時に「もうちょっと柔軟に」と注意されることが多くあったからです。

「それまでの社会経験が固定観念になっていて、患者さんの捉え方が押し付けになっていたようです。」と晴子さんは分析します。しかし、社会経験がプラスになっている面もあり、それは「いろいろな人と出会っていたことで、垣根なく人と接することができた。」という点です。

現在48歳。介護の仕事に就いて1年余りになる晴子さんは、「こっちは来て悔いは無い。世界が広がるし、視野も広がる。情報が入ってくるし、若い人との交流もある。」と、新しく飛び込んだ世界の魅力について力強く語ります。

取材を終えて

「もう年だから」という考え方は、人を束縛し、身動きをとれなくさせるものです。これに限らず、捨て去った方がいい固定観念を人は沢山持っています。そのうちの一つでも、どの時点かで、ひよいと気付くチャンスがあれば儲けものです。気付けば解放されて、伸び伸びと生きることもできるからです。「ああ、この年でもなれるんだ」と気付き、そして行動を起こした白木晴子さん。ひとつのことながら、共に解放感を覚え、爽快になりました。

家庭と仕事の両立をサポートします！

ハローワーク帯広マザーズコーナーの紹介

子育てをしながら「働きたい」ママを応援する
コーナーがあるのをご存じですか？

ハローワーク帯広のマザーズコーナーは、厚生労働省が出産や子育てのために仕事を辞めた女性が、もう一度仕事に戻ることを支援するために始めたサービスです。帯広では平成20年5月から開設され、相談者の希望やニーズを踏まえたきめ細やかな就職のサポートが行われています。子ども連れでも安心して訪れることができるようにキッズコーナーを設置し、女性の専門の相談員が丁寧に対応しています。



支援内容 相談窓口は 平日8:30~17:15

- ☆地方公共団体等と連携し、保育情報を提供
- ☆履歴書・職務経歴書の添削（予約制）
- ☆面接トレーニング
- ☆就職支援セミナーの実施
「面接の受け方セミナー」
「メイクアップセミナー」など
(当日は託児サービス提供)

ハローワーク帯広

〒080-8609 帯広市西5条南5-2
TEL 0155-23-8296 (41#)
FAX 0155-23-8706



ハローワーク帯広マザーズコーナー(キッズコーナー)

女性自らエンパワーメント（人生を主体的に生きる力）をつけ、
社会活動への参画を進め、活動している団体を紹介します。

国際ソロプチミストは、人権と女性の地位を向上させる活動をしている女性の国際的奉仕団体です。

2012年4月に、国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン（北海道・東北地区）大会が帯広で開催され多くの人が訪れましたが、サポーターティングクラブとして活躍された国際ソロプチミスト帯広みどりの杉浦昭子会長、前田まり子副会長からの活動を伺いました。

国際ソロプチミスト帯広みどりは1995年に設立され、45名の会員がさまざまな奉仕活動を行っています。

今、DV（配偶者からの暴力）は大きな社会問題になっていますが、会では「駆け込みシェルターとかち」を支援し続け、DV被害者のために公共トイレなどに相談窓口の案内カードを置いてあります。

また、高校生と動物園の清掃を行うとともに、高校生への薬物撲滅の働きかけもして



高校生と一緒に帯広動物園清掃

います。

さらに、帯広の街の活性化のために、ホコテンで商店街や親子連れの方々などと仮装パレードを盛大に行うほか、日頃行っているチャリティイベントの売上などで帯広市にベンチや動物園の看板等の寄贈も行っています。

今後も女性と女兒に希望と夢あふれる未来のため、継続して会の活動を行っていきたいとのことです。

国際ソロプチミスト帯広みどり

すべての女性と女兒に希望と夢
あふれる未来を

働きやすい環境づくりの支援



国、北海道、帯広市などでは、女性の再就職や子育て、仕事と家庭を両立させる働きやすい環境づくりのためにさまざまな支援事業を行っています。

個人向け事業 ～個人向けの主な就職支援事業等を紹介します。(ハローワーク帯広は記事で紹介しています。)～

ジョブカフェ・ジョブサロン帯広

- ・ジョブカフェは正規の就職活動をしている概ね39歳までの皆さん(含む学生)を対象に、就職相談やセミナー、求人情報検索など様々な就職支援サービスを提供します。
- ・ジョブサロンは35歳以上の方を対象に、就職相談、業界・企業情報の提供、スキル習得機関・講習の紹介などを通じて、転職や再就職に向けたキャリアプランの策定から、その実現に向けての活動をトータルにサポートします。
※施設内でパソコンもご利用いただけるようになりました。

場所 帯広市西2条南12丁目 JR帯広駅エスタ東館2階
利用時間 月～金9:00～17:00 TEL(0155)26-2130

問い合わせ先 十勝総合振興局産業振興部商工労働観光課
主査(労働) TEL(0155)26-9048

母子家庭等・就業自立支援センター

- ・ひとり親家庭の親に対し、生活全般、就業に関する相談、技能習得、求人情報提供に至るまでの一貫した就業支援サービスを行います。
- ・十勝管内のひとり親家庭を対象とした無料職業紹介所。(北海道および帯広市の委託事業)
- ・各種相談の他、就業準備講習会、就業準備セミナー(託児付)などを実施。

問い合わせ先

帯広市公園東町3丁目9-1

帯広市グリーンプラザ2階

社会福祉法人 帯広市社会福祉協議会

母子家庭等就業・自立支援センター

TEL(0155)20-7751

保育所・児童保育センターの入所案内・母子自立支援の相談等

保育所・児童保育センターの入所案内や母子自立支援の相談等を受けています。

問い合わせ先

帯広市西5条南7丁目1 帯広市役所3階

帯広市子ども未来部子ども課

保育所・幼稚園係(保育所) TEL(0155)65-4158

(児童保育センター) TEL(0155)65-4159

手当・医療給付係(母子自立支援の相談)

TEL(0155)65-4160

子育てなどに関する相談

子育て支援総合センター(帯広市保健福祉センター1階)で子育てなどに関する相談対応、また市内6か所の保育所内に設置した地域子育て支援センターでも子育て情報の提供や育児相談に対応しています。

問い合わせ先

帯広市東8条南13丁目

帯広市保健福祉センター

帯広市子ども未来部子育て支援課

おやこ相談係 TEL(0155)25-9700

事業所向け事業 ～国・帯広市の事業所向けの主な支援事業を紹介します。～

両立支援助成金・中小企業両立支援助成金

国では、一定の要件を備えた仕事と家庭の両立支援に取り組む事業主に対して、両立支援助成金(子育て短期時間勤務支援助成金等)、中小企業両立支援助成金(代替要員確保コース・休業中能力アップコース・継続就業支援コース等)の制度があります。

問い合わせ先

厚生労働省北海道労働局雇用均等室

TEL(011)709-2715

子育て応援事業所

帯広市では、子育て応援事業所に登録し、育児休業を取得した労働者を雇用する事業主に、子育て応援事業所促進奨励金を支給するなどの制度があります。

問い合わせ先

「制度の内容と登録」

については

帯広市子ども未来部

子育て支援課おやこ相談係

TEL(0155)25-9700

「子育て応援事業所促進奨励金」

については

帯広市商工観光部

工業労政課労政係

TEL(0155)65-4168

皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

〒080-8670

帯広市西5条南7丁目 帯広市役所 男女共同参画推進課

電話:0155-65-4134 FAX:0155-23-0171

電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成24年10月発行

●発行:帯広市 男女共同参画推進課

●企画・編集:帯広市男女共同参画推進員

阿部千鶴子・小林 孝子・清水マチ子

小野寺和子・棚瀬 寿子

「カスタネット」とは……2枚の丸い木が合わさり音が出る楽器から、女性と男性が共に歩むイメージを表現したものです。